

2025 年 4 月のブルーベリー農園その 1

日曜日の 6 日の東広島市豊栄町のブルーベリー農園の日中の気温が 19 度で、東広島市に合併した時に町から記念に全戸に配られソメイ

ヨシノがあちこちで開花。5 月の連休に向けた田植えの準備でトラクターがよくとおるので田んぼの泥が道のあちこちに足跡を残している。安芸区の自宅から農園に通って寒さ硬くなった体をほぐせる春の作業を続ける日々。

3 月 31 日 (水) 畑でブルーベリーの剪定を続けている。中心となる木の横に伸びたヒコバエを放置していたのですっかり大きくなっていた。中心の木を育てたいのでこれは掘り起こして切った



② アマガエル

4 月 3 日 (木) このブルーベリーの木は園内で一番太い木で地際の幹は足首くらいの太さになってる。周りのヒコバエを切ったら一段と貫禄が出た



③ 夕日に輝くツクシ

4 月 4 日 (金) 春の目覚め

① カナヘビ



《2025 年 4 月 8 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

4 月 5 日 (土) サクラは数輪花開いた向こうに鯉の

ぼりが泳ぐ



4月6日(日) 畑のブルーベリーの剪定を続ける。
切った枝の処理のため野焼きも並行して行う



昼食の食材は小さな畑に適当に植えたキャベツがテニスボールくらいの大きさになっていたのを刈り取りトマトパスタにして食べた



野の花から

① 石垣にへばりついて咲くホトケノザ



② 倉庫のそばの日陰に咲くキケマン



早生のブルーベリーの花芽。サクラは咲いてもブルーベリーはまだ花の口を開かないが硬い蕾から花がぼこぼこことせり出してきた



2025年4月8日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良